



8月 えんだより

<http://www.shoyo-kodomoen.com>

mail shoyo@daiwazenrinkan.com

社会福祉法人大和善隣館
幼保連携型認定こども園

松陽こども園

R8年7月31日

自分の心や身体はとても大切なものと伝えていきたい。 ＝乳幼児の性教育から考える＝

6月4日のプール開きから、もうじき3か月。しかし今年度は、暑さ指数(WBGT)が「30」を超え、水あそびができない日が続いています。「30」を下回る日があると、子どもも職員も「やったあ〜!!」と大喜び。8月は夏ならではの遊びがたくさん体験できるよう願っています。

さて、当園では日々の着替え、プール遊び時、水遊び後のシャワーと着替え、毎月の身体測定、排泄時の始末の際は、3、4、5歳児は、「目隠し・・・パーティーション」の設定や男児女児別室の環境を作っています。午睡も布団の敷き方を工夫しています。5歳児では、「男女」を意識した言動や行動が多くみられるようになり、「男だから」「女の子、ピンクのぞうり」等と異性の違いを伝えるようになりました。そんな中、性についての絵本を用意したり、プライベートゾーンの話、性別と色をリンクさせたマーク使用の見直しをしたり等、園内環境を通して保育者ができる性教育を行っています。「おむつ替えるよ。」等子どもたちに声をかけてから援助することを大切にしています。子ども一人ひとりに人権があること、自分は守られている存在であること、自分の心や身体はとても大切なものであることを日々、子どもとの関わりの中で繰り返し伝えていきたいと思っています。



つき組：プールあそび



プールあそび：目隠し



着替えスペース

♡ご結婚おめでとうございます♡

4歳児つき組担任の越田彩華先生が御結婚されました。
8月より、川口彩華先生となります。よろしくお願いします。

◎苦情解決担当者改選について 令和8年8月1日～ 第三者委員新委員を紹介します。

・片桐 真二 (元小学校長・民間こども園園長)

小松市御宮町 (090) 4188-8990

・森 都 (元公立保育所長・元民間こども園園長・主任児童員)

小松市糸町 (080) 6349-3723

日	曜	8月の予定	ぼけっとサン (月・水・金 AM 9:30~)
3	月	にじ組：個人懇談(～7日)	わらべうた ベビーマッサージ
5	水	にじ組：よさこい教室	湯水遊び (支援室遊び)
7	金	布団の持ち帰り	ミュージックケア
10	月		栄養士のお話
12	水		湯水遊び (支援室遊び)
13	木	布団の持ち帰り	
17	月		わらべうた ベビーマッサージ
18	火	ほし組：バス園外(いしかわ子ども交流センター小松館) 晴雨共	
19	水	にじ組：キッズアート教室	湯水遊び (支援室遊び)
20	木	らいおん組：バス園外(いしかわ子ども交流センター小松館) 晴雨共	
21	金	つき組：バス園外(いしかわ子ども交流センター小松館) 晴雨共 布団持ち帰り	リトミック遊び
22	土	にじ組：大領中祭り出演(希望者のみ)	
24	月		湯水遊び (支援室遊び)
25	火		
26	水	にじ組：よさこい教室 つき・らいおん組：幼児プールちゃっふる	湯水遊び (支援室遊び)
28	金	布団・園庭ズック持ち帰り	誕生会 (身体測定)
31	月		わらべうた ベビーマッサージ
9月			
1	火	にじ・つき組：幼児プールちゃっふる	

9・10月の主な行事

9月 1日(火)・・・全国児引き渡し訓練 PM

18日(金)・・・運動会(場所：小松総合体育館)

10月 7日(水)・・・0～4歳児：内科健診 9:15 (5歳児はありません。)

16日(金) 20(火)・・・くま組保育参加&クラス懇談会

17日(土)・・・秋の整備作業 AM (にじ・ほし・ひよこ組)

25日(日)・・・向本折校下敬老会 13:40 (にじ組自由参加)

職員研修を通じて学びがたくさんあります。 保育を振り返り、教育保育の質の向上に努めています。

月に一度、子どもたちの午睡時間を利用して全職員対象で園内研修を行っています。

先日は子どもたちの「人権」について考えました。テーマ「子どもの人権で大切にしていることは何？」の話し合いでは、様々な意見が出て「この関わり方は子どもたちにとってどうだろう?」「こんな風に接してみたらどうか?」「関わる時にこんなことを大切にしているよ」など子どもの気持ちや権利を大切にしたい関わりについて深く考え、思いを共有しました。



子どもたちの人権を考えよう
大切にしていることは?

笑顔で目を見て
優しく話す様に
しています



どうしたら
いいかな?

子どもの名前を呼び
捨てにするのはよく
ないね
気をつけたいです

体に触れる時は「鼻水
かぶよ?」など子ども
たちに伝えてからする
ようにしています

好き嫌いがある子に対してど
こまで介助しようか迷うとき
がある。食べられると良いが
無理強いはいたくない

食材に慣れたり、食事が
「たのしい」「おいしい」
と感じたりすることを
まず最優先にしたいね



なるほど!
明日から、学んだ
ことを活かして
関わってみよう



子どもたちの気持ちに寄り添える関わりを



「これはどう考えたらよいのかな」と悩む場面についても職員、皆で話し合うことができました。子ども一人ひとりが安心して過ごし自分らしく育っていけるよう職員同士学び合っていきます。